



Japanese Translation of the Speech of Mr. RICHARD MORAN

For the General Assembly Meeting of ASIC on
November 22, 2024

こんにちは。尊敬するゲスト、堀井勇吾氏とパートナーの皆様へ

本日は、パーペチュアル ヘルプ大学とオートボックスとの間の長年にわたるパートナーシップについてお話しできることを光栄に思います。この長年にわたるコラボレーションは、卓越した取り組みとして進化してきただけではなく、パーペチュアル ヘルプ大学のオートボックスの実習生の視野を広げ、多大な影響を与えてきました。

オートボックスとのパートナーシップは、自動車整備の業界で必要とされるスキルと知識を実習生に提供し、日々進化していく自動車整備の教育の水準を高めるという共通の認識から始まりました。

このパートナーシップの始まりはささやかなものでした。今日のような人材募集活動を中心として始まったわけではありません。私たちのパートナーシップは、旧 TESDA-JITCO の下で、両国にまたがる労働者の将来の為、技術やスキルを磨く教育プログラムを基盤としてきました。私たちはこのコンセプトを忠実に守り続けており、これがこのコラボレーションを成功させる鍵となっています。

「私の実習生、あなたの実習生は、みんなの実習生」彼らは私たちのものであり、私たちが約束した成功の考え方が中心にあります。私たちは、今日の TITP – SSW と次に始まる SDW – SSW の基本となる TESDA – JITCO 実習生プログラムの原則に従って実習生を訓練しました。名称は変わっても教育の本質は同じです。

このパーペチュアル ヘルプ大学とオートボックスのプログラムを通じて、本学では、日本の労働環境について多くのことを学びました。実習生の視野を広げ、キャリアパスをどのように広げていくか。そのために本学では外国語教育の一環として日本語の教育を取り入れました。日本語の学習は単なる語学学習だけでなく、実習生が



日本の文化や専門用語の理解し、またより深く理解し、実のある教育を体験するようになりました。こうして、パーペチュアル ヘルプ大学では日本語学科が設立されました。

このパートナーシップの最初の目標の 1 つは、クイックオートサービス技術プログラム (QASTP) の導入でした。これは画期的なプログラムで、本学の実習生が日本の自動車整備の技術と基準を実際に体験することができました。QASTP は、ますますグローバル化する自動車市場の需要を満たすことができる、高度なスキルを持つ新世代の技術者の基礎を築きました。

しかし、私たちの旅はそこで終わりませんでした。私たちが一緒に成長するにつれて、このコラボレーションは Project AB ME などの新しい取り組みへと進化しました。これは、より専門的で高度なトレーニング プログラムを提供できる画期的な取り組みです。これらの取り組みにより、学生は最新の自動車技術を習得し、急速に変化する自動車業界に遅れを取らないスキルを身に付ける機会を得ました。各プロジェクトで、私たちは最先端な取り組みをし、実習生が迎える将来の課題と機会に立ち向かえるように準備できることを目指しました。

今日、本学は高度自動車プログラムで新たな段階の入り口に立っています。このプログラムは、本学のパートナーシップの進化の頂点を目指し、高度な技術と高度な知識をカリキュラムに取り入れています。これは、本学の卓越性への取り組みの証であるだけでなく、本学の実習生にとってのチャンスでもあります。このプログラムを通じて、本学の学生は競争力を高めるための知識と能力を身に着ける事が出来ます。

オートボックスとのパートナーシップは、さらに多くのコラボレーションの機会への扉を開きました。これは、国際的な提携を通して、技術革新に対応し、そして可能性が拡大する画期的な例となっています。

私たちの 20 年間の関係は、その時々を試練を乗り越えてきました。教育とトレーニング プログラムをさらに進化するためには、さらなる発展とより深いコラボレーシ



UNIVERSITY OF PERPETUAL HELP SYSTEM DALTA



ョン以外に進むべき道はありません。これは、パーペチュアル ヘルプ大学とオート
ボックスの 50 年の歴史のテーマ、つまり卓越性への共同の取り組みを祝うことと一
致しています。

私から見ると、私たちがゼロから作り上げたこのパートナーシップは、比類のない、
また他に類を見ないものです。これは、教育と業界のパートナーシップの最高の形
です。

最後に、このパートナーシップが今後もパーペチュアル ヘルプ大学とオートボック
スの実習生たちに感動を与え、変革をもたらし、無限の可能性に満ちた世界への準
備ができると確信し、その未来を楽しみにしています。

ありがとうございました。

RICHARD MORAN